

# 学習課題（小学校1年生）



【こくご】おうちのひととけいかくをたててがくしゅうをしていきましょう。

＜ペンキょうすること＞

◆「あさの おひさま(26～27ページ)」をがくしゅうします。

- (1) おはなしをこえにだして、よんでみましょう。
- (2) ぶんやえをみて、どんなおひさまがおはなしのなかにでてきたのか、かんがえてみましょう。



おひさま

- (3) こえのおおきさやはやさをかえながら、おはなしをよんでみましょう。

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| あ | あ | あ | あ | あ |
| ○ | ○ | し | か |   |
| ○ | か |   |   |   |
| し |   |   |   |   |

「じやんぷらぐらふ」

◆「たのしいな、ことばあそび(30～31ページ)」をみて、「いるか」「いのしし」をれんしゅうしてみましょう。

- (1) 129～130 ページにのっているひらがなひょうをみて、かきじゅんどおりにかいてみましょう。
- (2) とりくみシートや、ノートのみす（しかく）から、はみださないようにかきましょう。
- (3) 「あ」や「い」のつくことばをあつめます。みぎの『ことばあそびのれい』をみて、○のところにはどんなひらがながはいるか、かんがえてみましょう。

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| い | い | い | い | い |
| ○ | ○ | し | か |   |
| ○ | か |   |   |   |
| し |   |   |   |   |



＜保護者による関わり方のポイント＞\*可能な範囲でお願いします。

- ◆「あさの おひさま」では、おひさまのしたことや様子などを想像しながら、詩の音読をします。
  - ・(2) では、右記のやりとりの例を参考にしながら、おひさまの様子を考えます。想像した様子から、読み方の工夫を考えられるように関わっていただけたらと思います。
  - ・(3) の学習では、大人のあとに続いて読んでもらったり、一緒に声を出して読んだりするなど、楽しみながらくり返し音読させてあげてください。
- ◆「たのしいな、ことばあそび」では、身近なことやものを表す言葉を増やす学習をします。
  - ・(3) の学習で、まだ学習していないひらがなを使った言葉を見つけた時には、メモするなどの手助けをしてあげてください。

《やり取りの例前半のまとめい》

- ・どんなおひさまかな？・大きいよ。
- ・どうして大きいと思ったのかな？  
・ここに書いてあるから、わかったよ。  
(教科書の文を指さしてもらおう。)
- ・どれくらい大きいのかな？  
・うんと大きいよ。  
・これくらい大きいよ。  
(身振りで大きさを表してもいいです。)
- ・大きさが伝わるように、読み方をかえて、お話を読んでみてね。